

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

実施日：令和 7 年 2 月 23 日(木) 13:30

場所：グループホーム旧軽井沢

記録：高梨のぞみ

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	打ち合わせ会議や年度始めには理念を改めて確認をしている。地域密着型サービスの役割や存在意義について学ぶ機会を設けている。チーム全体で支援について振り返りをして、支援において理念の実現がなされているかを考えるようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地区の通いの場(毎週)、新年会や敬老会等の行事、地区活動に参加したり、日常的に商店街や町へ買い物やドライブに出かけている。軽井沢幼稚園さんとの交流や地域ボランティアさんの訪問、小中高生の夏休みボランティア訪問を続けている。地域活動への参加やご本人のつながりを通して、顔なじみの関係が増えつつあり日頃から交流をしている。認知症ケアに関する相談や近隣の方の見守りを依頼されることもある。ホームにて旧軽caféを月に一度開催している。その他、ホームでイベントがある際は、地域の方もお誘いしている(月に数回)。	事業所が地域にしっかりと根付いており、そのことを意識した運営がなされている様子が伺える。 地域住民が毎回、定期的に運営推進会議へ参加していることや、事業所が地域の「通いの場」に毎週参加し、継続的な交流を行っている点が評価できる。 また、地区の新年会や敬老会などの地域行事にも毎年参加しており、日常的な関係づくりができている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームの運営状況について、報告をし、委員の方からの客観的な視点や意見、具体的な提案をいただきサービスの質の向上や充実に生かしている。毎回、議題を上げ、それについてご意見やアドバイスをいただいている。運営推進委員	運営推進会議では、ざっくばらんな意見が出しやすく、現状を率直に共有できる場になっていると。継続していくたい。 新年会においては、グループホームの活動が地域に紹介され、地区住民や		

				<p>の方が、地域住民の方へホームのことをアピールをしてくださっている。</p>	<p>役員から「とても嬉しい」「ありがたい」との声があった。また、地区の旧軽コミュニティサロンへの参加について、地域の方から「グループホームにもぜひ参加してほしい」との要望が寄せられている。旧軽カフェの運営など、地域にひらくれた幅広い活動を行っている点も評価されている。</p>		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>運営推進会議や、町サービス担当者連絡協議会にて情報を共有している。ホームの運営状況や支援の現状について報告をし、必要がある場合はアドバイスをいただいている。日常的に行き来をして話す機会を設けている。ソーシャルワーカー実習指導、認知症サポーター養成講座等、連携しながら活動している。</p>	<p>町主催の研修の開催が難しい状況もあり、県主催研修の受講を提案している状況である。保険者としては、日頃から適切なサービスが提供されると受け止めており、今後は加算取得に向けた支援も行っていきたい。</p>		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>身体拘束をしないケアを実践している。一つ一つの支援・行為・言葉について振り返り、考える機会を持ち、身体拘束を禁止している。その場限りの身体拘束はご本人にとってもチームにとっても何の解決にもならないことをチームで理解し、ご本人の気持ちや想いに寄り添い、声掛けやかかわり等含め、身体拘束をしない支援について話し合い、実践につなげている。ご家族や地域の方にもそのことをお伝えしている。玄関の鍵はせずドアの開閉は自由であり、ドアが開いたらまず様子を見て、ご本人が出掛ける気持ちの場合はそのままスタッフが付き添う。内部研修への参加、職能団体における研修会への参加、また、法人内に身体拘</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>常により良いケアを目指している様子が伝わってくるので、身体拘束について最大の配慮をしていることがわかる。利用者暮らしを制限されているようすが見られない。これだけ地域住民が気軽にグループホームに入る状況があることも、非常に信頼ができるケアを行っていることにつながる。「自宅にいた時より元気になった」「以前は下を向いて過ごしていたが、表情が明るくなった」といった様子が語られ、職員の関わりが本人に寄り添ったケアになっていることがよく分かるとの意見があった。</p> <p>グループホームで生活することで、ご利用者が居心地の良さを実感し、幸せそうに過ごしている様子が感じられるとの評価があった。</p>	

				東防止委員会を設置している。次年度以降、ホーム独自で委員会を設置する予定である。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修、職能団体における勉強会、打合せ会議において学ぶ機会を持っている。その中で具体的な日常の支援やかかわり、言葉遣い等について振り返りをし、虐待について考える機会を持っている。そして、ご本人の立場に立ち、考えを深め、虐待防止に努めている。申し込み、入居時、外泊時等、ご家族からのお話やお気持ちもお聴きし、相談に応じている。法人内に高齢者虐待防止委員会を設置している。次年度からホーム独自で委員会を設置する予定である。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から学びを重ねながら運営している様子が伺えるとの意見があつた。人材不足の中で、職員に過度な負担がかからないよう、限られた人員でどのように対応していくかを考えることも重要であるとの意見が出された。事業所全体にあたたかい雰囲気があり、利用者が「自分の家のように」自然に過ごしている様子や、「また来いや」と声を掛け合う姿から、居心地の良さや職員のケアの質が感じられるとの声があつた。 虐待に関しては町が相談窓口となっているため、今後も連携しながら取り組んでいきたいとの確認がなされた。	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の権利擁護について、研修会や職能団体の勉強会にて学ぶ機会を持っている。必要がある場合、または、ご本人、ご家族より相談を受けた場合、制度を利用できるようにサポートしている。制度を利用している場合、担当者と連携を図っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各項目をわかりやすい言葉で丁寧に説明をし、理解を得るようにしている。質問がある際は、より具体的に詳しくお伝えしている。一方的な説明にならないように、また、不明な点はその都度、確認できるように配慮している。契約後の質問も、その都度、説明をし、改定の際は、通知と電話、もしくは対面においてわかりやすく説明するように心がけている。			

9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>ご本人の意向や希望を、日常会話 から把握できるようチーム全体で 心がけている。また、ご家族から のご意見ご要望も、言いやすい雰 囲気をつくることや信頼を得られる ように、こまめな報告をし、情報を 共有するよう心がけている。運営 推進会議や、面会時、日常の暮ら しの中で、ご本人、ご家族、地域の方々 から、さまざまなご意見ご要望 があがっている。一つ一つ大切に 受け止め、工夫をし、最大限、実現 できるように努めている。</p>		<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>ご利用者の表情がとても良く、事業所 全体の雰囲気が良いとの意見があっ た。 月々の写真やおたよりを、お孫さんや 県外に住む家族にも送付しており、家 族とのつながりを大切にしている点が 評価された。 また、ご意見箱について、現在より分 かりやすいよう、事業所玄関への設置 を検討してはどうかとの提案があっ た。</p>
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>管理者はスタッフが日頃から、意見 を言いやすい雰囲気づくりを心掛け 、個々に会話をする機会をつくっ ている。スタッフの懇親会も開催 している。スタッフからご本人のご 要望を反映した提案や意見は多く あがる。スタッフの提案は、大切 にし、一つ一つ工夫をして実施でき るよう努めている。結果、ご本人 の暮らしの充実につながったことが 多数ある。</p>			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心を 持て働くよう職場環境・条件の整備 に努めている	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>スタッフひとりひとりの希望や力に 応じた環境や条件を整備してい る。資格取得や研修受講などに より、各自がスキルアップできるよ う協力している。労働時間や業務 内容が各自の負担になっていない か等、配慮している。また、勤務 状況の改善や業務の見直し等、事 業所の状況に合わせて常に検討を 重ねて、はたらきたい・はたらき続 けたいと思う職場とチームを目指 している。</p>		<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>賃金アップを意識した運営について話 題が上がった。 加算取得のハードルは高い面もある が、取得可能な加算については積極 的に整備していくことが望ましいとの 意見があった。 チームづくりに力を入れ、職員同士が 協力し合っている様子が伺えるとの評 価があった。 また、管理者が職員一人ひとりの状況 や能力を把握し、それぞれに合った働き 方ができるよう配慮している点が評 価された。</p>

						療養休暇を取得している職員がいいことも、働きやすい職場環境の一つの指標として挙げられた。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフひとりひとりの希望と力に応じた人事に努めている。管理者は各自に合った必要な研修会や職能団体に参加できるようコーディネートし、各自のスキルアップにつなげている。参考となる書籍を管理者、スタッフと共有し、意見を分かち合う機会を持っている。また、日頃から運営や支援についての課題を共有し、話し合いを持っている。また、地域の方がホームにいつでも訪問できること、実習生を積極的に受け入れれることを、日々の支援やスタッフの姿勢を振り返り、サービスの向上に生かすきっかけとしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は、職員がそれぞれ自分に合った研修を選び、受講している状況が報告された。 今後も引き続き、職員のスキルアップにつながる研修受講を継続していくよう努めていくことが確認された。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の研修会や懇親会、法人外の職能団体における勉強会や懇親会、他事業所の視察等に参加できるよう環境を整えている。法人内だけでなく外部とのネットワークを築くことにより、各自のスキルアップやモチベーションの向上、より良いサービス、運営の展開を目指すことへつながっている。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人おひとりおひとりを人生の大先輩として尊敬の念を持ち、支援に携わりつつ共に暮らしている。スタッフはご本人自身が暮らしを営む暮らしの主体者であることを意識し、ご本人が自ら家事参加や役割が持てるように工夫している。打ち合わせ会議等で、視点や意識を		

				振り返りながら繰り返し確認している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみの方や友人と入居後も変わらず会えたり、外出したり、手紙を出したり、電話ができるようサポートに努めている。また、なじみの商店や地域活動へ続けて出向くことができるようサポートしている。入居後も、週数回、行きつけのパン屋さんや酒屋さんへ行く習慣を継続している。なじみの方が気軽に自由にホームに来られるような雰囲気づくりを心掛けている。ホームへの訪問者は増えている。	日々の様子からも地域とのつながりが自然に保たれていることがわかる。自宅で生活していた頃の暮らしや習慣が継続されており、これまでなじみのあったお店や理髪店などにも引き続き通っていることは地域住民にとっても希望であり喜びで会ある。。現在の暮らしの場が変わっても、これまでの生活や人との関係が大切にされていることが伝わってくる。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、日常のかかわり、会話の中から、ご本人おひとりおひとりのご希望、ご意向、お気持ちを把握し、それに沿うような暮らしを実現できるように努めている。ご本人がのぞむ空間や環境、希望する生活スタイルで暮らしを営むことができるようサポートしている。ご希望、ご意向を実現することが暮らしの意欲向上につながるようサポートしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の願いや想いを把握するために、センター方式やひもときシートを活用して、スタッフ全員がアセスメント、プラン作成に参加している。スタッフは日頃から、ご本人の願いや希望を実現するための意見やアイディアを出し合い、計画に反映させている。ご本人の実現したいことを目標とし、それが張り	ご本人に寄り添ったケアプランが作成されている。 ご本人の思いや生活状況を踏まえた、望ましい内容の介護計画が作成されているように感じられる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族が参画し意見を十分に汲み取ってもらっているという意見が上がった。

				合いとなる暮らしができるようなプランを作成するよう努めている。			
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプラン実行表・ケース記録への記入により情報を共有している。また、日常のかかわりの中でご本人の気持ちの見える場面や表情、大切な発言を記録し、スタッフ間で共有するよう努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のおたよりや本人の小まめな変化に対する報告があり安心しているという意見があった。	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おひとりおひとりの家族関係や環境の状況等に応じて柔軟に考えたりレクリエーションを兼ねたサポートとして実施する等、その時その時のおひとりおひとりのニーズに合わせ臨機応変に工夫をし、柔軟にサポートできるように努めている。ご本人、ご家族の方と、こまめに相談をし、お話する機会を設け常に必要なニーズを把握するよう努めている。	ご利用者一人ひとりの要望に応じて、さまざまな機能を組み合わせた支援が行われている様子が伺える。日頃の近況報告からも、ひとりひとりに合わせたケアが伝わってくる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族、地域住民、また、運営推進会議や町のサービス担当者連絡協議会より地域資源について情報収集を行っている。地域の特性、地域特有の施設等を、活用や利用をして暮らしの楽しみや充実につなげている。また、地域で暮らし続けることにより、地域の施設の活用や地域住民の方との交流をし、ご本人が暮らし続けた地域だからこそご本人が持つ力を發揮することができている面が見られる。さらにホームが地域の社会資源として活用していただけるよう展開を図るために工夫や学びを続けている。また、ホームにて実習生を受け入れることにより、実習生の	公民館活動に積極的に参加していることが報告され、地域資源を生かした支援が行われている。また、地域住民がグループホームと「一緒に取り組んでいる」という感覚を持てていることが、地区としての強みになっている。地区の敬老会や通いの場へ事業所が参加するだけでなく、区民を旧軽カフェに招いて交流している点でも、地域とのつながりがしっかり築かれていることがわかる。		

				新鮮な視点や発想が、ご本人の力を取り戻すことや力を引き出すことに生かされている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族が信頼されている主治医にホーム入居後も引き続きかかることができるようサポートしている。ご本人に必要な時が来たら、訪問診療に切り替え(現主治医の訪問診療へ)もしくは移行できるよう調整、サポートしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当医・担当看護師・連携室相談員・訪問看護師・リハビリ職と、こまめに顔を合わせたり、連絡を取るようにしている。定期的にようす伺いに行き、ご本人の状態を把握し、ご本人と顔を合わせたり、会話をするよう心掛けている。退院前カンファレンスに出席し、退院後の生活環境を整えている。主治医は、ご本人にとってホームでの暮らしの大切さを重視し、退院調整をしてくださっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が日頃から病院や医師、医療機関の職員と良好な関係づくりを行っている様子が伺えるとの意見があった。 入院時においても、スムーズな連携が図られていると感じられ、今後もこのような関係を継続してほしいとの声があつた。	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時、入居後も終末期について、また、ホームでの可能な看取り介護について、ご本人とご家族と話し合う機会を持っている。状態に応じてその都度、時には主治医、看護師も交えて話し合いを重ねている。また日常のかかわりの中で、ご本人の終末期に対する希望を把握できるよう努めている。 主治医・訪問看護・ご家族と連携を図り、いつまでもご本人らしさを大切にした看取りケアに努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や終末期への支援については、ケースバイケースで丁寧にケアができるとの意見があつた。 個別の意向を大切にしながら支援が行われており、多くの利用者が、最期までこのホームで暮らし続けることを選ばれている点が共有された。	

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練・研修・打合せ会議において、手順の確認・訓練を行っている。緊急時対応については普段からスタッフが不安なことや想定されることについて、緊急時対応方法を確認している。実際の緊急時対応の場面を振り返り、対応方法を振り返り、更新し、次の機会の対応力向上につなげている。				
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	春と秋に避難訓練を行っている。春の訓練時は、運営推進会議の開催と同時に避難訓練を実施し、地域の方、消防署の参加と協力を得ている。災害時には地域住民とお互いに協力できるよう、話し合いを重ねている。初期消火訓練、消防設備の使い方について長野県防災システムよりレクチャーを受け実践訓練をしている。秋の避難訓練は町の防災訓練の日と同日に開催し、夜間を想定した訓練を実施している。	火災や地震などの災害時に命を守るために訓練を実施している。 特に夜間に災害が発生した場合の避難先や連絡体制について、「どこへ避難するのか」「誰に連絡するのか」を明確にしていくことが重要である。 町や区長と相談しながら、地域との連携をより一層深めていくことの重要性が確認された。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	4月から設立予定の地域自主防災会へあらためて加入し、地域全体での防災体制づくりに参画していくことが望ましいとの意見があった。地域住民と事業所がお互いに協力し合いながら、基本的には自施設避難であるが、二次避難場所である東部小学校への避難も含め、連携を深めていく必要があることが共有された。	
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人生の大先輩であるおひとりおひとりを尊敬する気持ちを大切にしている。その方の人格と誇りを尊重するかかわりを心掛けている。ご本人が暮らしの主体者として暮らしを営むことができるよう、スタッフはリビングでの会話の内容、声の掛け方、言葉の使い方等、ご本人のプライバシーに配慮している。常に振り返りを重ね、打合せ会議等で勉強会を実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議の中での記録や日頃の様子から、職員の声かけや関わりが丁寧で、ご利用者の思いを大切にしたケアがなされていることが伝わってくるとの意見があった。	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、そ	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の暮らしのペースやご本人のご希望、したいことを尊重している。外出や行事参加、入浴、居室環境、食事時間、食事内容等の暮				

		の日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		らしの習慣については、ご本人の希望やペース、習慣の継続を実現できるように取り組んでいる。スタッフは臨機応変に動き、ご本人が今日、今、したいと表現されたことを実現している。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	作り方の相談・下ごしらえ・調理・味付け・片付けに、ご本人が参加でき、楽しい気持ちで食事ができることを大切にしている。コロナ後、スタッフも共に食事をすることを再開し食事の雰囲気、食後の団らんや会話を大切にしている。笑い声や会話にあふれ、ご本人の表情も豊かになったり発言が増えているようすが見られる。郷土料理、地域の食材や、季節の食材を使った食事を工夫してご本人の力を生かして調理している。今年は本格的に畑をつくり、野菜がたくさん収穫でき、畑の手入れや庭の手入れ、花植えに取り組むことで、ご本人の多くの力を発揮する場面が見られた。ご本人自身が会話の中でメニューの提案をし、それを実現できるように努めている。できるだけ自分自身で食べること、口に運ぶことを大切にして最大限の工夫をしている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が工夫を重ねながら、ご利用者と一緒に食事の準備や片付けに取り組んでいる様子がよく分かるとの意見があった。 食事の時間が、ご利用者にとって楽しみの一つになっていることが感じられるとの評価があった。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の身体の状態・状況を把握し、食事量、バランス、形態、嗜好品等、おひとりおひとりに合った食事ができるよう心掛けている。栄養士の資格を持ったスタッフが食事面についても把握し、必要があればアドバイスをしている。水分を摂ることが難しい方には、ゼリーを作り、水分を補給している。必要があれば主治医、看護師に相談		

				をするが、医療や栄養に偏ることがない、生活の場であることを大切にした食事に努めている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のできる力を把握し、自身の力を生かした口腔ケアができる環境を整えおひとりおひとりに合わせた口腔ケアのサポートをしている。ご希望や必要に合わせて歯科検診や受診のサポートをしている。身体の状態によっては訪問歯科診療を実施している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人ひとりの状態に合わせて訪問歯科を導入していること、通院を選択していることが共有された。また、行政としても歯科衛生士に相談できる体制が整っているため、必要な際にはいつでも相談してほしいとの意見があった。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心を大切にし、おひとりおひとりの状態に合わせたサポートを行っている。おひとりおひとりの排泄のリズムを把握し、トイレにて排泄することができるようサポートしている。入院等により一時的にオムツを使用する状況があっても、常に見直しをし、トイレでの排泄を目指している。さりげないサポートを中心掛け、自立支援につなげている。できるだけ薬に頼らず、オリゴ糖、入浴等で、便秘の予防を図っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人ひとりに合わせた排泄ケアが行われていることが、日頃の様子か伺えるとの意見があった。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のお風呂に入りたいという気持ちと、今までの暮らしの習慣を尊重している。入浴中はおひとりおひとりに合ったかわりをし、良い時間となるように配慮している。時期によっては、ゆず湯、菖蒲湯、りんご湯をご用意している。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の生活習慣、ご希望に沿って休息していただいている。消灯時間や休息時間の決まりはなく、ご本人の希望に合わせて、リビングや居室にて過ごしていただいている。また、ご本人が安心した気		

			持ちで休むができるようなお部屋づくりやリビングの休息スペースづくりを心掛けている。ご本人に合った環境づくり、雰囲気づくり、かわりをして安心して休む気持ちになれるようサポートしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の担当スタッフを中心に、薬の管理をしている。日々、状態観察をし、変化があれば早急に主治医や看護師に相談をしている。チーム全体で処方された薬、効能を確認をし、把握できる書面を用意している。服用については、ご本人に合わせたサポートをしている。訪問診療時や、受診時は、身体の状態や生活のようすを主治医に報告をして、処方薬の見直しをしていただいている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が服薬内容について把握し、支援を行っていることが共有された。医師をはじめとする医療機関とも連携が取れており、適切な対応が行われているとの意見があった。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の暮らしの中から、ご本人の趣味、力、したいこと、できることを把握し、それを生かした役割をつぐっている。暮らしの中で役割に自然に取り組めるように工夫しサポートしている。役割があることで、お互いに助け合い、暮らしへの意欲向上につながると考えている。また、嗜好品を買いに、なじみの商店に行くことや、食材や洋服を商店へ買いに行くこと、外食をすること、地域住民の方に会いに町へ散歩に行くことや、コンサートに行くこと、イベントに行くことも暮らしの楽しみになっているようである。行く先々で、知人や友人と顔を合わせることがあり、そのようすからはご本人の喜びと張り合いとなっていることが伺える。	外出の機会を利用者がとても喜んでおり、「また行こうね」と話している場面に居合わせたことがある。町でもよくグループホームの皆さんに会うことがある。 回覧板で地域の催しを確認し、地区的イベントへ参加していることが報告された。 また、グループホームで開催されている旧軽カフェのチラシを回覧板に入れてもらうなど、地域とのつながりを広げる取り組みも大変ではあるが、意義のある活動として継続してほしい。	

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望に沿って、ほぼ毎日のように、買い物や散歩等、外に出るサポートをしている。地域の方々とおしゃべりをすることがご本人やスタッフの喜びと張り合いになっている。生活歴、日常のかかわりの中からおひとりおひとりのご希望を把握し、買い物・外食・ドライブ・コンサート鑑賞・地域の行事・なじみの場所への散歩等、外出のサポートをしている。また、スタッフ人数、駐車場の確保、休憩場所の手配等の事前準備が必要であるいちご狩りや美術館巡りも前もって企画をしご本人の希望、ご家族の了承を得て、実施している。	新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで地域のイベント等への参加が難しい状況が続いているが、感染状況の落ち着きとともに、少しづつ活動が再開されてきている。今後も感染対策に配慮しながら、可能な範囲で、本人の希望に沿った外出や活動を継続していくよ。
37	お金の持つや使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を手持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金を所持する力・使える力を生かせるようサポートしている。可能な範囲での自己管理、買い物に出掛け自身で支払いをすること等、入居後も続けて、力を生かせるようサポートしている。	
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人とご家族のご要望をり合わせ、手紙を出すサポート、電話をかけるサポートを行っている。ご本人の携帯電話、ホームの固定電話、スマートフォン、LINE、テレビ電話、自由に使うことができるので、遠方のご家族やご友人には案内して活用していただいている。	
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内の飾り付け、作品作り、食材、リビングに飾る花、窓から見える景色から季節を感じることができるように工夫している。おひとりおひとりが好みのスペースや、思い思いに過ごせるよう、その時々の状況やご本人のご希望に応じてテーブル、いす、ソファーの設置に工夫	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ホーム内はアットホームな雰囲気が伝わってくるとの意見があった。 「自分の家と間違えるくらい」という声もあり、安心して暮らせる環境が整えられていることが感じられるとの評価があった。

			をしている。ご本人自身が暮らしの主体者として暮らすことができるよう、居室やトイレに案内のさりげない貼り紙をする、エレベーターの使い方を掲示する等、おひとりおひとりが必要とする工夫をしている。ご本人が必要とする工夫をすることによってご本人が持っている力を生かして、安全に自立した暮らしができるような環境づくりに努めている。		
--	--	--	--	--	--

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の今までてきた暮らしのスタイルを大切にし、継続できるように努めている。外出や行事参加、入浴、居室環境、食事時間、食事内容等の暮らしの習慣については、ご本人の希望やペース、習慣の継続を実現できるように、ご本人がホームに合わせるのではなく、ご本人の思いや希望に沿うような暮らしがどうしたらできるかを、考え、できるように、ホームとチーム全体で、最大限、工夫をしながら努めている。		
		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴をご本人にとって支障のない範囲で、アセスメントしている。ご家族からもお話を伺っている。また、入居後も、友人関係、暮らしの習慣、地域活動、社会活動への参加が継続してできるようにサポートしている。		
41		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフは多方面においてご本人の変化に早急に気付くことができるよう観察力を向上させる努力をしている。その上でご本人とどうしたら暮らしやすくなるかを相談したり、また、ご本人からの不安を	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の日々の様子や、ご家族から寄せられる意見を通して、健康面や安全面等への支援が十分に行き届いていることがよく分かるとの評価があつた。

				傾聴し、不安の軽減につながるような環境構築をご本人とスタッフが共に考えサポートに努めている。医療面においてはすぐに主治医に相談できる体制を整備している。また、一人のひとが暮らしを営む上で考えられるリスクについてはご家族に、説明をしご理解を得ている。		
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅での暮らしを継続できるように、ご本人にとって必要なものや大切なものを持ち込んでいただきご本人にとって心の安心につながるようなご自身のお部屋をつくりっている。今までの暮らしの習慣がホームでも最大限、継続してできるように努めている。		
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室への持ち込みは、ご本人にとって大切なもの、必要なものは何でも自由に持ち込むことができる環境を整えている。ご本人が望むお部屋をつくっていただいている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで使用していた家具や衣類、またお孫さんが作ったものなどを持ち込んで生活していくことが共有された。それが大切にしてきた物に囲まれ、一人ひとり異なる、個性のある空間を持てている点がとても良いとの意見があった。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が出かけたい時に出かけたい場所に出かけることができるよう、スタッフは臨機応変に動く力をつけ、サポートしている。また、地域の行事や、催事情報も幅広く得るように努め、参加している。入居前に参加していた行事にも続けて参加している。	ご本人やご家族からの声を通して、外出や活動への取り組みが丁寧に行われていることが伺える。 職員が一生懸命支援に取り組んでいる様子が伝わってくる。	
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	難しいこととできることをスタッフは見極める力を向上させるよう努めている。難しいことをして、自信を喪失することを避けている。ご本人の特技やできることを生か		

			した役割を持つことができるよう努めている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームならではの団らんのひとときを大切にしている。おひとりおひとりに合わせた会話を交わすことにより、いきいきとした豊かな表情の表出とご本人からの発言が多く見られる。また、ホームでの役割や出番を持つことができている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者が持っている力を生かしながら生活している様子が見られ、表情や日常の様子がとても生き生きしているとの意見があった。 こうした関わりは、意識して取り組まなければできないことであり、日々の丁寧な支援の積み重ねが感じられたと評価があった。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や買い物、通いの場、行事に出かけ、入居前からの友人、知人に会う機会があり、会話や再会を喜ばれ安心されているようすが見られる。また、ホームでの暮らしを営むことによりご本人自身が、新たなかかわりを構築されている様子も見られる。地域密着型サービスの特徴を生かし、地域に出向き、地域住民の方々と交流をするにあたり、当然、個人情報の保護についての課題は生じるが、ご本人とご家族と話し合い、了承を得たり、確認をしている。	商店街や町の行事でグループホームの皆さんとお会いする機会がよくある。施設での暮らしではなく地域で暮らしている感覚がとても伝わってくる。これからもそのような運営を継続してほしい。	
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつもある顔なじみの関係を大切にしている。スタッフは、ご本人の24時間の暮らしを壊さないように、「ただいま」「おかえり」と、共に暮らしているという感覚を大切にするため、さりげなく出勤、退勤をする等、配慮している。地域住民の方々とも顔なじみになり、町で顔を合わせおしゃべりをしたり、ホームに足を運んでくださる。ホームに入居希望や視察のお客さんが来所されると「ここは思ったよりもいいところだ	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を通じて、事業所の日頃の取り組みや雰囲気、地域との関係性がよく伝わってくるとの意見が多く聞かれた。 今後も、地域とのつながりを大切にしながら、ご利用者一人ひとりの思いや暮らしを支える取り組みを継続していくことが期待される。

			<p>よ。」「若い人も暮らしているから安心だよ。」とご本人から声をかけてくださる。しかし、どうしても、人事異動でスタッフが変わること(最小限に努めている)、入退去によりご利用者が変わることが、ご本人の心の状態に影響していることがあるので、その際には、きめ細やかな配慮と心のケアが必要である。これからもご本人おひとりおひとりにとってホームでの暮らしがよりよい日々となることを目指し、工夫と努力を重ねていく。</p>	<p>今後については、同じ趣味を地域の方、ご利用者、職員が一緒に楽しめるような取り組みを、ぜひ企画しましょう。</p>		
--	--	--	--	---	--	--